



山形城シンポジウムを開催しました

開催日時：令和6年9月1日（日）

開催場所：市民会館、霞城公園

開催内容：プレイベント「山形城を歩いてみよう」

公園整備報告「霞城公園整備状況の報告」

基調講演「山形城から読み解く山形の歴史」 城郭考古学者 千田嘉博

トークセッション「山形城跡を活かした霞城公園の整備」

城郭考古学者 千田嘉博、タレント 村井美樹、東北芸術工科大学教授 北野博司、山形市長 佐藤孝弘

プレイベント「山形城を歩いてみよう」

午前は、霞城公園を歩きながら、市調査員が山形城の特徴や整備状況のお話をしました。
千田教授、村井さん、北野教授がサプライズで登城していました。



公園整備報告「霞城公園整備状況の報告」

市職員から霞城公園の整備状況や発掘調査の報告をさせていただきました。

城郭の移り変わり

最上義光時代の絵図
(1610年頃)

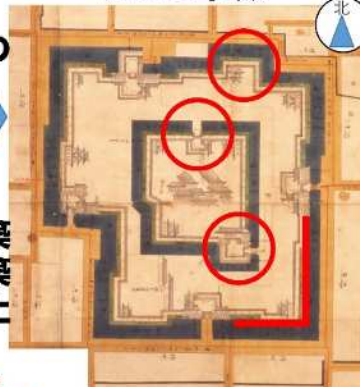


鳥居忠政の
改修
(1622~)

堀の拡張
城門の改築
建物の改築
城内の盛土

主な違い
●本丸の門の位置
●二ノ丸北門を1つ減
●本丸と二ノ丸の堀の形状

松平直基時代の絵図
(1645年頃)

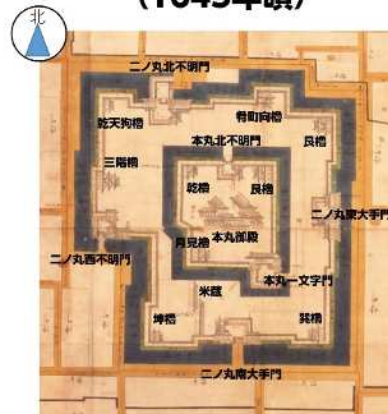


現在との比較

現在の絵図
(2024年)



松平直基時代の絵図
(1645年頃)



復原整備の状況

本丸西埋門(うずみもん)
の復原

本丸堀・土塁
の復原

二ノ丸坤堀(ひつじさる)
石垣の復原

二ノ丸肴町向櫓(さかなまちむかい)
石垣の復原

土堀礎石の保護

二ノ丸長櫓(うしとら)
石垣の復原

二ノ丸東大手門
櫓・石垣の復原

本丸一文字門
高麗門・石垣・土堀
木橋の復原

二ノ丸翼櫓(たつみ)
石垣の復原

公園整備の状況

これから整備

本丸復原整備

桜の園整備

園路拡幅整備

土塁園路整備

駐車場整備

東大手門広場整備

一文字門広場整備

梅の園整備

発掘調査の状況



山形城VR／AR

発掘調査の状況



発掘調査の状況



これからの公園整備



基調講演「山形城から読み解く山形の歴史」

城郭考古学者 千田嘉博 教授から基調講演をいただきました。



山形城から世界のお城まで、楽しいお話を簡単にまとめました。

講演の要旨1

二ノ丸土塁の「屏風折土堀」の礎石が残っており、今のところ全国で山形城でしか見られない貴重な遺構である。土塁の上を歩けるお城は珍しく、土塁を自由に散歩して、健康づくりしながらお城を見られることは幸せなこと。

二ノ丸北不明門（あかずもん）の外側に400年以上前からの「外枡形」の形が今も残っている。安土城や大阪城、水口城（将軍専用の城）などと同じ形になっているが、水口城よりもしっかりとした造りに見える。最上時代の400年前から残っていると思われるので貴重な形である。現在は公園の入り口として道路になっているが、ぜひこの形は大切に残してほしい。

二ノ丸東大手門の復原について、細かな特徴が名古屋城などにも同じように見られ、再現性が高い。ただ、土堀に狭間（さま・鉄砲や弓矢のための小さな窓）を作らなかったのは残念。本丸一文字門は狭間を再現しているので、東大手門は土堀の補修などの機会にぜひ再現してほしい。

発掘調査では、江戸時代の本丸御殿の痕跡が見つからなくて残念だが、最上氏時代の遺構が見つかったことは、学術的にはこちらの方が貴重である。多くのお城では戦国期から江戸時代に入ると改修しており、戦国期の姿が分からなくなっている。大阪城などでも見られるが、ほとんどが江戸時代の遺構の地下に戦国期の遺構があり、江戸時代の遺構を壊さないため、戦国期の遺構を発掘できない状況である。山形城は江戸時代の遺構が失われており、地下深く発掘できるため、最上氏の遺構を発見できた。これはすごいこと。



講演の要旨2



本丸の最上氏時代の遺構を視察



二ノ丸土塁屏風折土塀を視察

また、本丸から御殿に使われたと思われる金箔瓦が見つかったが、豊臣政権時代のものはほとんど残っていないので、大変貴重なもの。

安土城、豊臣時代の大阪城、肥前名古屋城など多くのお城で御殿の全容が分かっていないところが多い中、山形城本丸は最上氏時代の様子がわかる可能性が残っている。これまで山形城は、本丸や二ノ丸堀を江戸中期の形で再現したが、これから本丸を最上氏時代の遺構を活かした形に整備したとしても、他の前例があるので問題ないと思う。

海外に目を向けると、様々な時代のお城があるが、未来の山形城の参考にしてほしい事例がたくさんある。

ドイツでは遺構保存の覆屋（おおいや）が当時の建物や景観に配慮した形になっている。また、当時の衣装で当時の料理を提供してくれる。

イギリスの世界遺産であるハーレフ城では、当時のお城にスロープを付け足し、カーナヴォン城では補修時にエレベータを設置してバリアフリーを実現している。

ドイツのエーレンブライトシュタイン要塞では、模型を手で触れて、音声ガイドと共に目の不自由な方にも全容を理解できるようにしている。

お城を訪ねて歴史を体感することは、すべての人が等しく出来るようにすべきである。

金沢城や熊本城では、バリアフリー化が進んでいる。山形城もユニバーサルデザインにバージョンアップして、高齢者、子ども、障がいのある方、海外の方等、だれもが等しく山形城を体感出来るようにしてほしい。

視野を広げて面白い発想とユニバーサルデザインを合わせ持つ世界に誇る山形城を整備し、みんなが等しく歴史を体感するなら山形城に行きなさいと言われるようになっていただきたい。

トークセッション「山形城跡を活かした霞城公園の整備」

山形市長 佐藤孝弘、城郭考古学者 千田嘉博、タレント 村井美樹、東北芸術工科大学教授 北野博司
によるトークセッションを開催しました。

楽しい話がたくさんありました。出演者のご意見を簡単にまとめました。

講演の要旨1

山形城について

市長： 山形市のまちの風格であり、歴史を示す大きなシンボル。
600年以上存在している素晴らしい城が山形市にあるという価値
をこれからのまちづくりに最大限活用していくべきもの。

千田氏： 2本立ちの最上義光騎馬像は、山形市の鋳物技術の高さの象徴。
全国的に見ても非常に大きい総構えの城は大阪城に匹敵する。
とても大きい三ノ丸土塁の一部が残っているのがすごく貴重。
石垣が伝統技術によって丁寧に化粧加工して復原されている。
本丸から最上時代の遺構が発見されたが、戦国期の遺構は学術的にも大変貴重である。

村井氏： 霞城セントラルから見ると山形城の広大さがよくわかる。城内を歩いても広大で見どころがたくさんある。

鉄道が目の前を走っている珍しい風景。桜の時期はJRが新幹線でも徐行するほどの桜の名所。桜の時期にまた来たい。駅から徒歩10分はたいへん魅力的。

北野氏： 全国的にも貴重な最上氏時代の御殿や金箔瓦、屏風折土塀が見つかっている。

城は山形市の扇状地特性をよく理解し利用する設計になっており、堀は地形の高低差を巧みに利用した構造で、東西で違う堀深さや土橋で調整し、湧水で賄っていた。



講演の要旨2

最上義光について

市長： 大河ドラマの影響で悪いイメージがあるが、羽州探題の名門である最上家の失地回復を行った山形市の英雄。

「羽源記」によると家臣からの天守建造の勧めに対し、山形城が立派でも長谷堂城等の諸城が堅固でなければ意味がなく、民にも負担がかかることであると却下している。民思いのすばらしい武将である。

職人町を作って技術の振興を図り、城下町を発展させた。

近年、良い方向に評価が高まっているので、映画や大河ドラマなどでもっとみんなに知ってほしい。

千田氏： 義光が連歌が出来たということは、家臣も出来る教養の高い集団だったとわかる。何も無い庭で詠むことはないと思うので、城内にもすごいお庭があったのではないかな。

非常に難しい時代に課題に立ち向かった大きな存在で、秀吉に金箔瓦を許され、山形城に取り入れたことは、グローバルな意識を持ち、マネジメントの高さの証と思う。

村井氏： 文武両道で大変魅力的な武将。身長180cmと当時としてはとても背が高く、鉄の指揮棒を振り回し、最前線に立つ勇敢な面もあった。

一方で、連歌などの文化に精通したかなりの教養人であった。

もっと評価されて良い武将と思う。

北野氏： 本丸の最上時代の遺構は、野面積み石垣の技術の高さをうかがわせる。秀吉などから最先端の技術を取り入れていたのでは。

高い教養を持っていたので、想像だが義光の時代には、池があって、目の前に建物があつたような感じで、連歌を楽しめるような立派なお庭を作っていたのでは。



講演の要旨3

山形城跡の活用について



市長： 最上氏の遺構は、覆屋（おおいや）などの方式で現物を多くの方に実際に見てほしいと考えている。

城跡の整備と公園的整備はメリハリをつけて、いろんな要素を楽しめる公園となるように整備したい。

千田氏： 城跡であることをしっかりと体感できる整備をしてほしい。例えば樹木を植え過ぎないようにして城の全体像が分かるようにするとか。

整備計画はメリハリのあるすばらしいものと感じた。

最上氏遺構のような戦国期のものは全国的に少ないので、活かした整備を期待したい。

村井氏： お堀に船を浮かべて遊覧する、発掘調査を体験するなど、体験・体感をすることができればもっと魅力が向上するのでは。

二ノ丸土塁を1周できるお城はほとんどないので、すごいこと。本丸土塁も歩けるようになったら良いのでは。

慶長出羽合戦（長谷堂城の戦い）は北の関ヶ原として全国的にも有名なので、その合戦や義光まつりなどを霞城公園で開催してはどうか。

北野氏： 国の史跡であるため、城内にガイダンス施設や飲食施設を作るのは難しいことだが、山形城周辺には必要な施設と思う。最上氏の遺構や城の移り変りなど来園者の理解をもっと深めることが出来るようにしていくことが大切。

講演の要旨4

これからの霞城公園の整備について

市長： いろいろなお話が出来て、非常に良い本丸整備の方向性が見えてきたと感じた。まだまだ工夫の余地があるとも感じた。市民のみなさん、子供たちにもいろんなアイデアをいただいて、知恵を出し合いながら進めていきたい。

山形城とその歴史には魅力ある面白いエピソードがたくさんあるので、それを学べる・楽しめる施設を作っていきたい。

霞城公園は、市民にとって本当に大切な存在であるので、しっかりとした保存と活用をしていきたい。

千田氏： 城跡の復原も大切だが、ユニバーサルデザインを取り入れて、だれもが等しく歴史を体感できる整備をしてほしい。

施設を作るだけでなく、訪れた人が山形城や歴史のことを自分で考えたい・知りたいと思える整備をしてほしい。

本丸整備を最上氏の遺構を活かすように方針転換したことは英断と思う。なかなかできることではない。山形城でなければ見ることができない整備を進めてほしい。

村井氏： お城がとにかく広いので、食事ができる休憩所がほしい。食事はお城の雰囲気味わえるものが良い。

まだ調査中とのことで、いろんなことができる可能性と夢がある公園だと感じる。市民の意見を取り入れ、ますますみんなが楽しめる公園になってほしい。市民のみなさんは、こんなにすごいお城と夢のある事業を見届けられて幸せだと思う。

北野氏： 最上氏の遺構を活かした整備を進める決断はすばらしい。大切に保存しながら、かつ、日常的に市民の憩いの場となり、誇りとなるような史跡公園として整備を進めてほしい。整備検討委員として協力していきたい。

